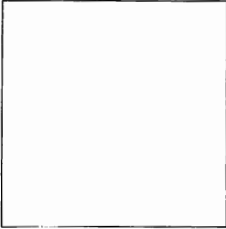


ちくま新書

日本の転機

——米中の狭間でどう生き残るか



ロナルド・ドーア
Ronald Dore

序にかえて

「実に吾人の胆を寒からしむ。」

この言葉を、明治四二（一九〇九）年の日本の「輿論」を見渡して、朝河貫一が、その年に出版した『日本の禍機』の序文で述べている。当時おそらく唯一の、米国一流大学の生粋の日本人教授であった朝河は、封建制度形成期の比較研究で有名な歴史学者でありながら、国際関係のリアリストでもあり、立派な平和主義者だった。

その本は、米国と究極的には衝突せざるをえない暴走をつづける日本への警告だった。朝河によれば、日露戦争までは、普通の米国人にとって、ロシアは恐ろしい存在で、日本に同情していた。ところが、日露戦争終結から四年がたって、ロシアへの警戒が忘れられて、日本が「戦勝の余威を弄して、隣近を併呑」しようとしている恐ろしい国と認識されるようになり、米国人の同情が全て中国と韓国に向けられるようになったという。

注

- 1 朝河貫一（1873-1948）米国イェール大学教授。私は、半世紀前に日本通史の講義をしていたとき、「入来」という荘園の歴史を書いた、すばらしい歴史家としてしか意識していなかったが、『日本の禍機』の著者でもあったことを渡辺昭夫教授に教えていただいた。大いに感謝しています。朝河については、矢吹晋『朝河貫一とその時代』（花伝社、2007年）を参照した。

そう考える米国人には理があつて、日本が非難されるべきだと朝河はいう。米国が大事にする二大原則を日本が侵しているからだ。「二大原則とは、清帝国の独立および領土保全、並びに列国民の機会均等」。

朝河は、いわば米国民の「良識」を代弁して（偽善も交えているのを認めて）、米国輿論を無視する日本人をたしなめている。

私のこの本は、逆に、米国の「悪識」を鵜呑みにしすぎて、世界をまっすぐ見ることができなくなつた日本人をたしなめることを企図している。

しかし、肝の温度差はさておき、私も「まったく同感！ 一世紀経っても同じだ！」と敬嘆するところも朝河の本にはある。とくに「胆を寒からしむ」ことを説明するところは、意を一にする。その趣旨は、日本人は「克己」（いかにも儒教的なこの概念は字引がこう定義する。「誰よりも客観的に自分を見る目を失わずに、身体を鍛え、知性を身につけ、自分の仕事を厳しく評価しながら常に進歩し続けること」）の精神が足りないことを伝える点にある。曰く、

一国内の輿論は、靈妙不可思議の圧力あるがゆえに、これがために思想行為を束縛せられざるものは、賢者といえども稀なり。これをもって史上の国民が危機に際して、

己に克ちて将来の国是を定むること能わざるがために、窮地に陥りたる恐るべき幾多の実例あり。

ただ、幸いにして、明治四二年と違うのは、三大新聞、NHK、週刊誌、月刊雑誌などのマスメディアの論調が一元的であっても、現在はインターネットの発展にともない、さまざまな立場の論陣が張られ、反体制的な立場から書かれたブログも相当数あることだ。天木直人や孫崎享のような反逆外交官もいる。私もそれらの知見からいろいろなことを教わり、恩恵にあやかっている。

↑今日の日本の「輿論」

その年その年の世論を形成する代表的な演説／文章のひとつは総理大臣の所信表明であろう。

総理大臣となって、初めての所信表明を二〇一一年九月に述べた野田佳彦総理は、当然、六カ月前の時代を分かつ大震災について、追悼の言葉、感謝の言葉、激励の言葉から始めた。しかしそのすぐ後で、こう続けた。

ドーア教授『金融が乗っ取る世界経済』の挑発的問いかけに答える

- 1. アメリカにゴルバチョフがいるか。それとも米中戦争の勝ち負けに決裁が委ねられるのか。(⇒**ゴルバチョフ**はいないが、米中戦争は**起こらない**、起こせない)
- 2. 中国経済はアメリカのような**格差の大きい社会**となるか。(⇒その通り。米中は格差拡大を競い合っている)
- 3. 土壇場でも、**日本は対米追随か**。有効に立ち回れないのか。(⇒立ち回れない。しかし、米中戦争は起こらない)

ドーア教授の間違い

- 1. 現在の**米中冷戦**を**米ソ冷戦**とだぶらせて見ている。これは**根本的**な見誤り。最も重要な側面を見ていないこと。
- 2. いわゆる米中冷戦は、軍事対決の点では米ソ対決と似ているが、**経済的補完関係**は空前に深まっている。一つは、**貿易**関係、もう一つは外貨準備による米国証券類投資。マレン統合参謀本部議長が米国の最大の敵は米国の債務と述べたことは示唆的だ。金貸しを相手に戦争はできない。(軍事対決を超える**経済的**もたれあい。腐れ縁)
- 3. 敗北を認める**ゴルバチョフ**の**役割**を果たすものが何かは、まだ見えていない。